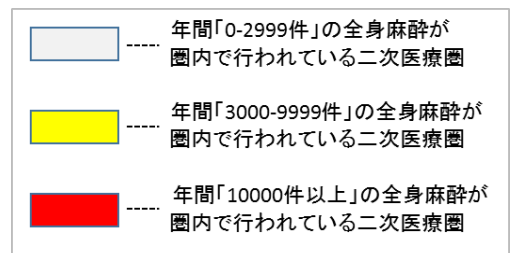
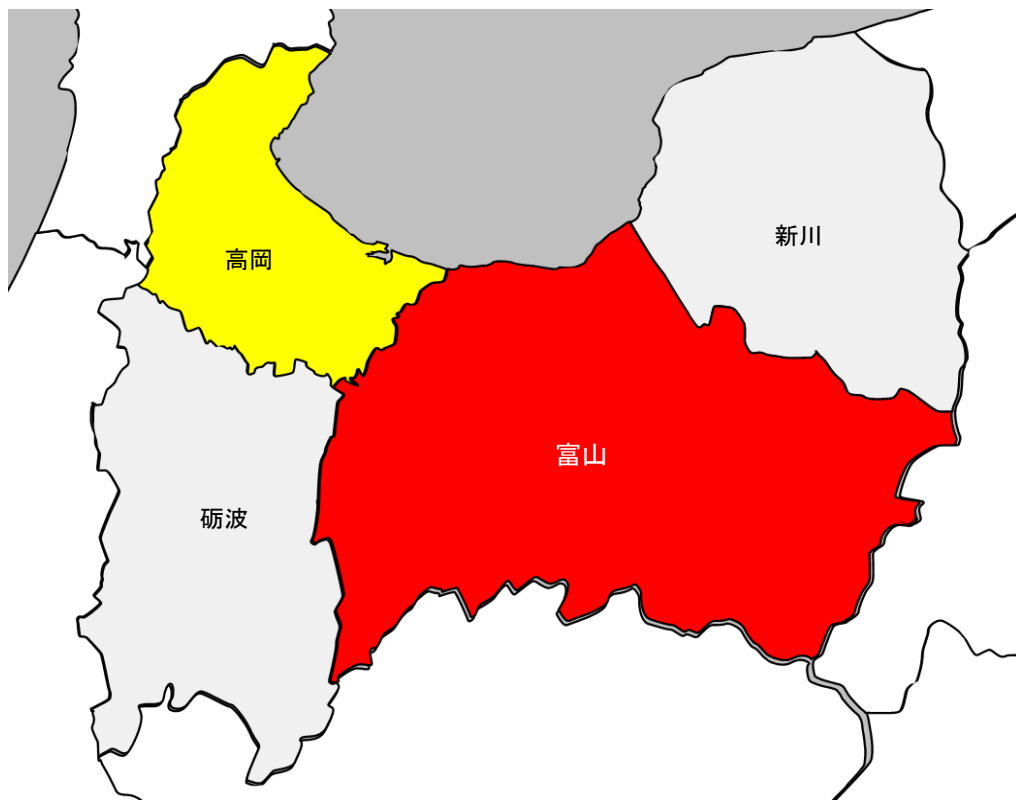


16. 富山県

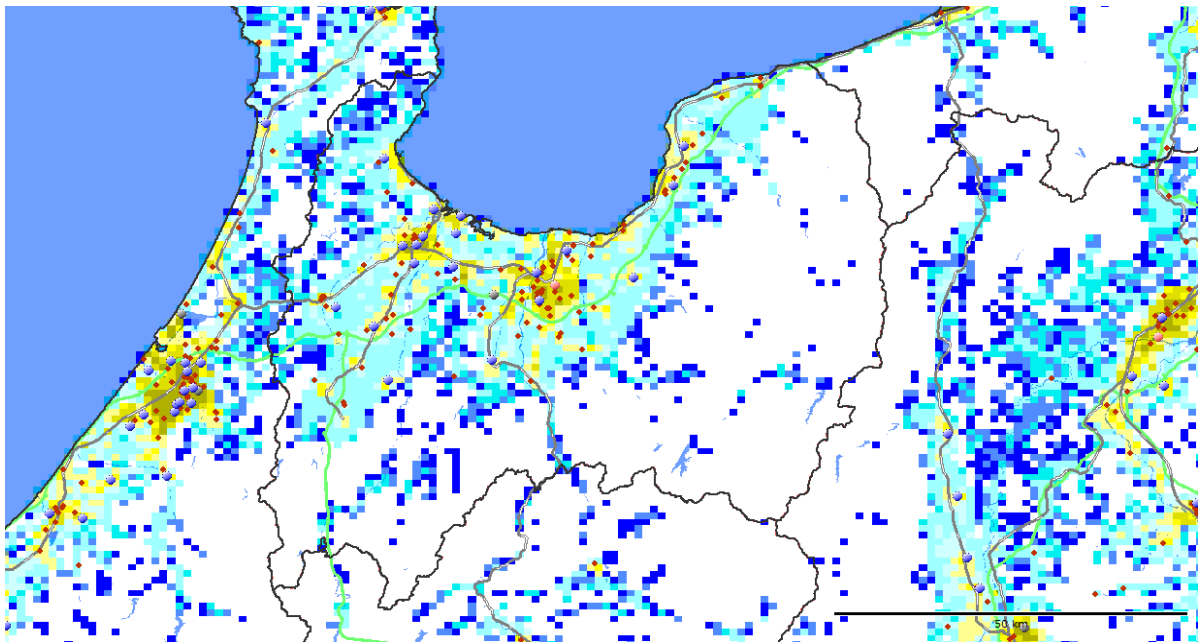


目次

富山県	16	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	16	-	8
1. 新川医療圏	16	-	20
2. 富山医療圏	16	-	25
3. 高岡医療圏	16	-	30
4. 砺波医療圏	16	-	35

16. 富山県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(富山県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富山県は、総人口約1,066千人(2015年)、面積4,248km²、人口密度は251人/km²である。

*人口の将来予測： 富山県の総人口は2025年に996千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に863千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の160千人が、2025年にかけて208千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には195千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富山県の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値55)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富山県の一人当たり急性期医療密度指数は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は1.84で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が51(病院医師数52、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富山県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17,095人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12,239床(偏差値62)、高齢者住宅等が4,856床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,819人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設76、有料老人ホーム37、軽費ホーム46、グループホーム54、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,614人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

富山県の総人口は、2005年1,111,729人が、2015年に1,066,328人と4%減少し、2025年の人口が996,442人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

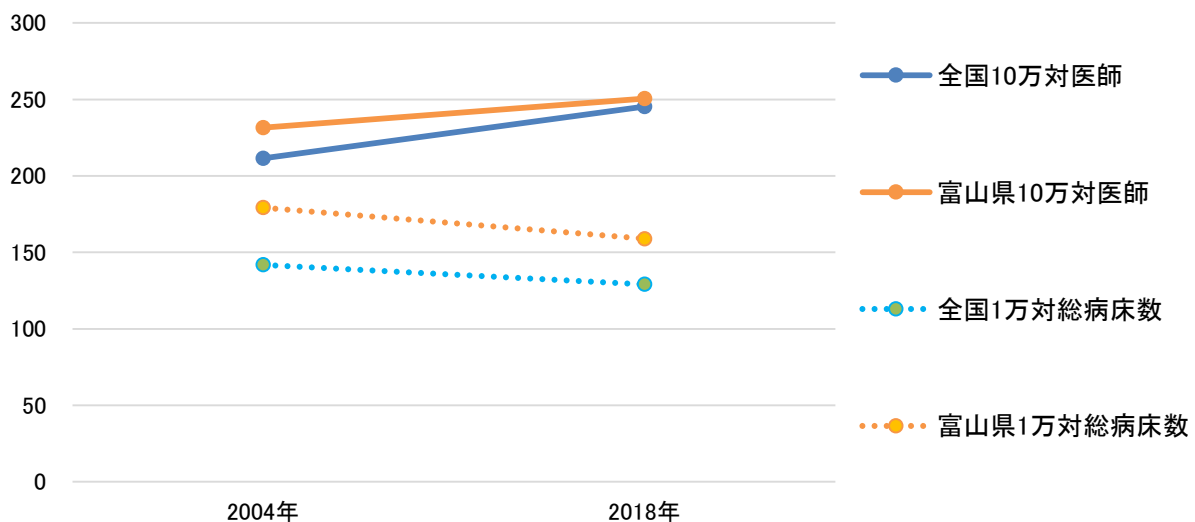
2004年の病院数が115(人口10万人当たり10.3病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2018年に107(人口10万人当たり10病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、14年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が780(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に764(人口10万人当たり72診療所(全国平均80)偏差値45)と、16診療所が減少した。

2004年の総病床数が19,933床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2018年に16,942床(人口1万人当たり159(全国平均129)偏差値56)と、2,991床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,574人(人口10万人当たり232人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2018年に2,671人(人口10万人当たり250人(全国平均245人)偏差値51)と、97人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

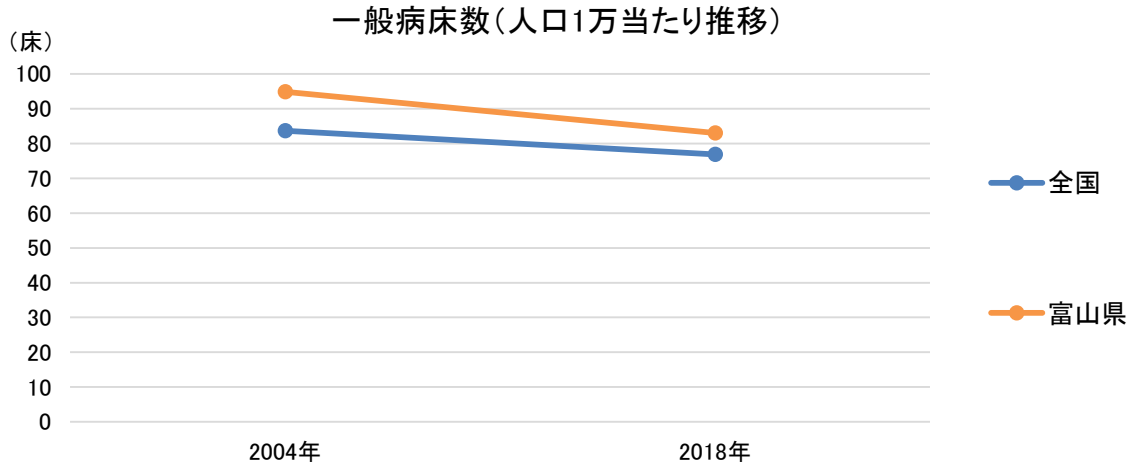
人口当たり医師数・総病床数の推移



16.富山県(2019年版)

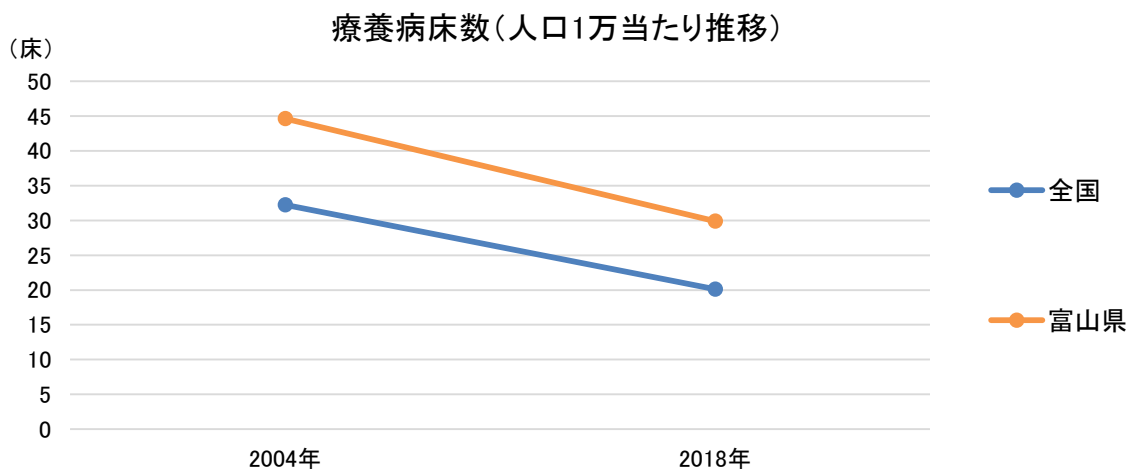
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が10,551床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に8,853床(人口1万人当たり83(全国平均77)偏差値52)と、1,698床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



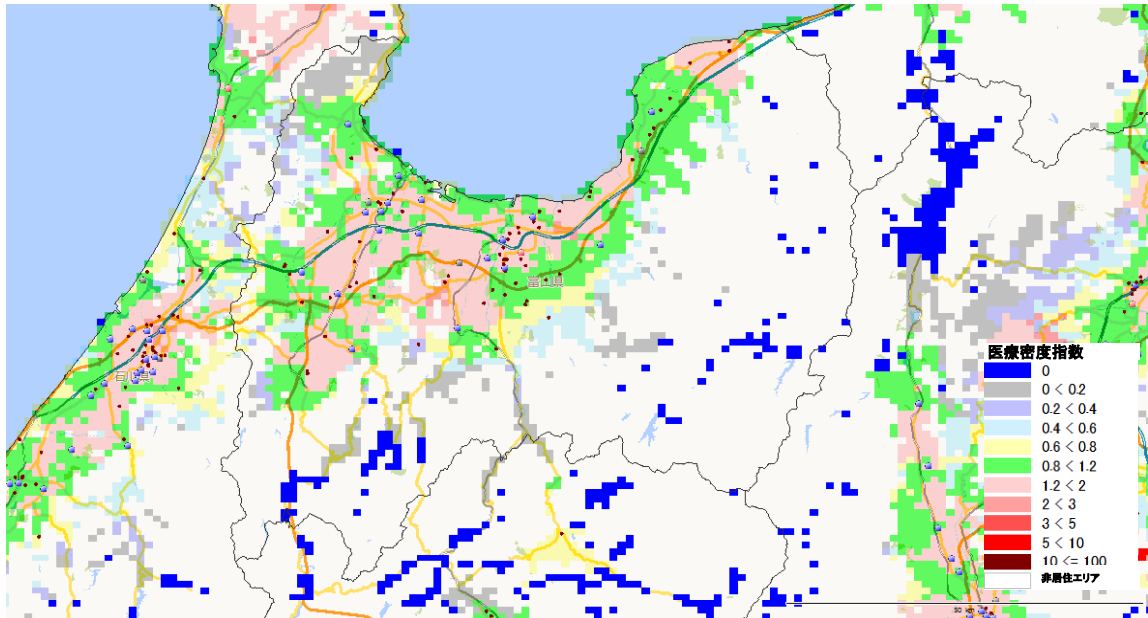
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5,655床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2018年に4,791床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均20)偏差値59)と、864床の減少、率にして15%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



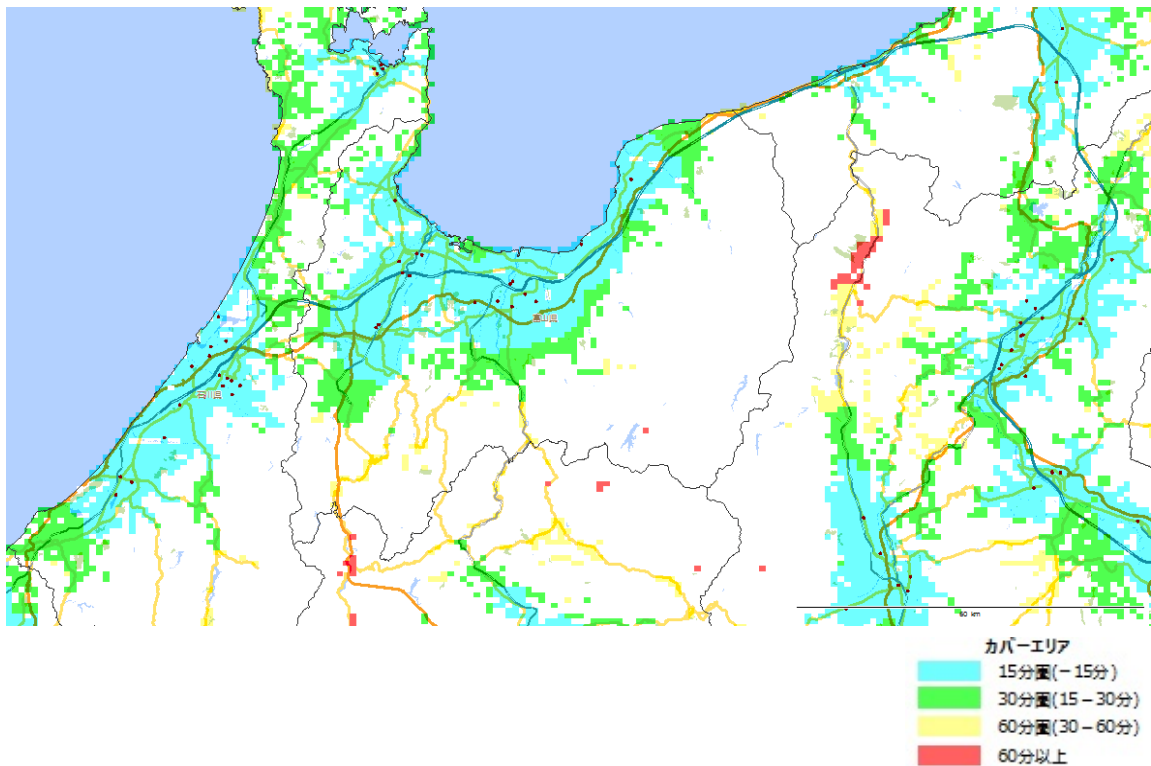
(富山県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表16-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



16.富山県(2019年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 16-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
富山県	1,066	37位	4,248	33位	251.0		31%	996	863	160	208	195	-7%	-13%	30%	-6%
新川	122	11%	924	22%	131.4	過疎地域型	33%	108	87	20	25	22	-11%	-19%	25%	-12%
富山	502	47%	1,844	43%	272.1	地方都市型	29%	480	432	70	92	89	-4%	-10%	31%	-3%
高岡	312	29%	550	13%	568.5	地方都市型	32%	289	245	48	63	58	-7%	-15%	31%	-8%
砺波	131	12%	930	22%	140.6	過疎地域型	33%	119	99	22	27	26	-9%	-17%	23%	-4%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 16-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
富山県	1.29	1.84	14,872	16,728	-12.5%
新川	1.24	2.03	1,987	2,032	-2.3%
富山	1.22	1.48	6,468	7,447	-15.1%
高岡	1.42	1.87	4,112	5,036	-22.5%
砺波	1.29	1.06	2,305	2,212	4.0%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 16-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
富山県	378	55	0.987	162	58	1.098	194	51	0.926	282	58
新川	394	59	0.970	177	62	1.120	195	52	0.886	267	54
富山	381	56	0.982	160	57	1.058	198	54	0.944	286	59
高岡	371	53	0.939	158	56	1.028	190	49	0.888	277	57
砺波	371	54	0.929	165	59	1.059	183	45	0.848	291	61
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 16-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
富山県	899	48	0.928	496	53	1.015	380	37	0.853
新川	886	46	0.919	512	55	1.049	350	29	0.792
富山	944	51	0.970	519	55	1.064	400	42	0.887
高岡	850	43	0.879	451	48	0.925	377	36	0.846
砺波	874	46	0.897	506	54	1.014	347	29	0.785
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 16-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
富山県	107	1.3%	10.0	59	764	0.7%	72	45
新川	14	13%	11.5	63	73	10%	60	39
富山	51	48%	10.2	59	385	50%	77	48
高岡	26	24%	8.3	54	221	29%	71	45
砺波	16	15%	12.2	64	85	11%	65	42
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 16-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
富山県	764	0.7%	72	45	724	0.8%	68	46	40	0.6%	3.8	47
新川	73	10%	60	39	70	10%	58	41	3	8%	2.5	45
富山	385	50%	77	48	367	51%	73	49	18	45%	3.6	47
高岡	221	29%	71	45	204	28%	65	45	17	43%	5.4	50
砺波	85	11%	65	42	83	11%	63	44	2	5%	1.5	43
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 16-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
富山県	16,389	1.1%	1,537	57	553	0.6%	52	48	16,942	1.0%	1,589	56
新川	2,141	13%	1,762	61	39	7%	32	45	2,180	13%	1,794	59
富山	8,033	49%	1,601	58	237	43%	47	47	8,270	49%	1,648	57
高岡	3,870	24%	1,239	50	246	44%	79	50	4,116	24%	1,317	50
砺波	2,345	14%	1,794	62	31	6%	24	44	2,376	14%	1,818	60
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 16-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
富山県	8,318	0.9%	780	54	4,773	1.5%	448	60	3,194	1.0%	300	52
新川	1,045	13%	860	57	792	17%	652	70	290	9%	239	49
富山	4,102	49%	818	55	2,355	49%	469	61	1,522	48%	303	52
高岡	2,150	26%	688	49	831	17%	266	51	862	27%	276	51
砺波	1,021	12%	781	54	795	17%	608	68	520	16%	398	57
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 16-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
富山県	469	0.6%	44	46	1,116	1.4%	105	56
新川	89	19%	73	52	84	8%	69	51
富山	253	54%	50	47	483	43%	96	55
高岡	91	19%	29	43	353	32%	113	57
砺波	36	8%	28	42	196	18%	150	62
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 16-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
富山県	7,122	6,400	98	8,669	1,792	4,208	78.1%	63	2.3%	49
新川	823	814	0	1,059	146	623	84.8%	65	0.0%	48
富山	3,411	3,095	0	4,608	1,007	2,341	75.5%	62	0.0%	48
高岡	1,583	1,511	0	2,137	639	681	70.3%	60	0.0%	48
砺波	1,305	980	98	865	0	563	100.0%	71	14.8%	54
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 16-11 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
富山県	24,156	1.1%	2,265	56	8,016	0.9%	752	51
新川	2,376	10%	1,955	53	888	11%	731	50
富山	13,260	55%	2,643	61	4,032	50%	804	53
高岡	6,612	27%	2,116	55	2,280	28%	730	50
砺波	1,908	8%	1,460	47	816	10%	624	46
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 16-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
富山県	2,671	0.9%	250	51	1,908	0.9%	179	52	763	0.7%	72	46
新川	245	9%	202	45	176	9%	145	47	69	9%	57	39
富山	1,509	56%	301	56	1,115	58%	222	58	394	52%	79	49
高岡	639	24%	205	46	420	22%	134	46	219	29%	70	45
砺波	278	10%	213	46	197	10%	151	48	81	11%	62	42
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 16-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
富山県	291	1.0%	27.3	54	114	0.8%	10.7	49	92	0.8%	8.6	49
新川	29	10%	23.9	51	6	5%	4.9	37	8	9%	6.6	44
富山	176	60%	35.1	61	73	64%	14.6	57	59	64%	11.8	57
高岡	67	23%	21.4	49	29	25%	9.3	46	17	18%	5.4	41
砺波	19	7%	14.5	43	6	5%	4.6	37	8	9%	6.1	43
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 16-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
富山県	63	1.1%	5.9	56	100	1.0%	9.4	55	75	1.0%	7.0	54
新川	8	13%	6.6	59	10	10%	8.2	51	6	8%	4.9	46
富山	28	44%	5.6	55	47	47%	9.4	55	42	56%	8.4	59
高岡	22	35%	7.0	61	31	31%	9.9	57	21	28%	6.7	53
砺波	5	8%	3.8	47	12	12%	9.2	54	6	8%	4.6	45
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 16-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
富山県	83	0.9%	7.8	50	173	0.8%	16.2	49	161	1.0%	15.1	54
新川	5	6%	4.1	41	18	10%	14.8	47	13	8%	10.7	44
富山	52	63%	10.4	57	99	57%	19.7	54	97	60%	19.3	63
高岡	18	22%	5.8	45	36	21%	11.5	42	34	21%	10.9	45
砺波	8	10%	6.1	46	20	12%	15.3	47	17	11%	13.0	49
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 16-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
富山県	49	0.8%	4.6	49	65	0.9%	6.1	53	57	1.0%	5.3	52
新川	4	8%	3.3	43	12	18%	9.9	68	5	9%	4.1	48
富山	31	63%	6.2	56	33	51%	6.6	54	31	54%	6.2	55
高岡	7	14%	2.2	38	14	22%	4.5	46	13	23%	4.2	48
砺波	7	14%	5.4	52	6	9%	4.6	46	8	14%	6.1	55
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 16-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
富山県	69	0.9%	6.5	52	21	1.3%	2.0	57	28	0.7%	2.6	47
新川	5	7%	4.1	45	2	10%	1.6	53	0	0%	0	34
富山	35	51%	7.0	54	13	62%	2.6	63	16	57%	3.2	49
高岡	22	32%	7.0	54	5	24%	1.6	53	8	29%	2.6	46
砺波	7	10%	5.4	49	1	5%	0.8	44	4	14%	3.1	49
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

16.富山県(2019年版)

資_図表 16-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
富山県	15	0.7%	1.4	47	24	0.9%	2.3	51
新川	3	20%	2.5	56	1	4%	0.8	41
富山	6	40%	1.2	46	16	67%	3.2	57
高岡	5	33%	1.6	49	4	17%	1.3	44
砺波	1	7%	0.8	42	3	13%	2.3	51
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 16-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
富山県	11,559	1.0%	1,084	56	9,634	1.0%	903	57	1,925	0.9%	181	50
新川	1,227	11%	1,010	54	1,049	11%	863	56	178	9%	146	46
富山	6,033	52%	1,203	61	5,010	52%	999	61	1,024	53%	204	54
高岡	2,914	25%	933	51	2,372	25%	759	51	542	28%	174	49
砺波	1,385	12%	1,060	56	1,203	12%	921	58	182	9%	139	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 16-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
富山県	1,115	0.8%	105	49	2,794	0.9%	262	52
新川	146	13%	120	52	216	8%	178	43
富山	594	53%	118	52	1,630	58%	325	58
高岡	232	21%	74	44	709	25%	227	48
砺波	143	13%	109	50	239	9%	183	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資_図表 16-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
富山県	68	0.5%	0.4	40	15	1.0%	0.1	50	82	0.7%	0.5	41
新川	2	3%	0.1	32	2	13%	0.1	51	11	13%	0.5	43
富山	37	54%	0.5	42	8	53%	0.1	53	38	46%	0.5	43
高岡	23	34%	0.5	41	4	27%	0.1	49	26	32%	0.5	43
砺波	6	9%	0.3	36	1	7%	0.0	44	7	9%	0.3	32
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 16-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
富山県	17,095	1.0%	107	51	12,239	1.2%	76	62	4,856	0.7%	30	42
新川	2,131	12%	105	50	1,744	14%	86	70	387	8%	19	34
富山	7,804	46%	112	54	5,531	45%	79	64	2,273	47%	33	43
高岡	4,765	28%	100	47	3,271	27%	68	56	1,494	31%	31	42
砺波	2,395	14%	106	51	1,693	14%	75	61	702	14%	31	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 16-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
富山県	4,482	1.2%	28	59	5,653	1.0%	35	49	2,104	4.0%	13.1	76
新川	559	12%	28	58	887	16%	44	58	298	14%	14.7	80
富山	2,133	48%	31	63	2,308	41%	33	47	1,090	52%	15.7	83
高岡	1,190	27%	25	54	1,733	31%	36	50	348	17%	7.3	61
砺波	600	13%	27	57	725	13%	32	46	368	17%	16.4	85
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
富山県	76	0.0%	0.5	37	93	0.4%	0.6	46	2,399	1.2%	15.0	54
新川	0	0%	0	36	0	0%	0	43	243	10%	12.0	49
富山	35	46%	0.5	37	93	100%	1.3	49	744	31%	10.7	47
高岡	41	54%	0.9	37	0	0%	0	43	800	33%	16.7	57
砺波	0	0%	0	36	0	0%	0	43	612	26%	27.2	76
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
富山県	2,288	0.9%	14.3	49	65	0.3%	0.4	44	2,223	1.0%	13.9	51
新川	144	6%	7.1	39	0	0%	0	42	144	6%	7.1	41
富山	1,401	61%	20.1	57	65	100%	0.9	47	1,336	60%	19.2	58
高岡	653	29%	13.7	48	0	0%	0	42	653	29%	13.7	50
砺波	90	4%	4.0	35	0	0%	0	42	90	4%	4.0	37
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 16-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値	定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
富山県	2,019	1.2%	12.6	59	1,606	1.3%	10.0	64	412	0.7%	2.6	43
新川	250	12%	12.3	57	211	13%	10.4	66	39	9%	1.9	37
富山	971	48%	14.0	65	763	47%	11.0	69	208	51%	3.0	46
高岡	492	24%	10.3	48	373	23%	7.8	53	119	29%	2.5	42
砺波	306	15%	13.6	63	260	16%	11.6	73	46	11%	2.0	38
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
富山県	14,433	1.0%	90	48	12,819	1.0%	80	51	1,614	0.7%	10.1	44
新川	1,673	12%	83	41	1,485	12%	73	44	188	12%	9.3	42
富山	6,335	44%	91	48	5,414	42%	78	49	921	57%	13.2	50
高岡	4,467	31%	93	51	4,092	32%	86	56	376	23%	7.9	39
砺波	1,958	14%	87	45	1,829	14%	81	52	129	8%	5.7	35
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
富山県	7,609	0.6%	47	42	3,777	0.7%	24	43	8,696	0.8%	54	44
新川	1,110	15%	55	44	268	7%	13	35	902	10%	44	40
富山	3,214	42%	46	42	1,798	48%	26	44	4,992	57%	72	51
高岡	2,135	28%	45	41	1,150	30%	24	43	1,989	23%	42	39
砺波	1,150	15%	51	43	561	15%	25	44	813	9%	36	36
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 16-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
富山県		1,111,729	1,066,328	-4%	996,442	-10%	8%	2%	11%
新川	過疎地域型	131,730	121,507	-8%	108,410	-18%	4%	-2%	2%
富山	地方都市型	508,964	501,670	-1%	479,940	-6%	11%	4%	15%
高岡	地方都市型	329,933	312,425	-5%	289,030	-12%	8%	2%	10%
砺波	過疎地域型	141,102	130,726	-7%	119,062	-16%	3%	0%	4%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

16.富山県(2019年版)

資_図表 16-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
富山県	115	10.3	58	107	10.0	59	-8	-7%
新川	15	11.4	61	14	11.5	63	-1	-7%
富山	52	10.2	58	51	10.2	59	-1	-2%
高岡	29	8.8	54	26	8.3	54	-3	-10%
砺波	19	13.5	67	16	12.2	64	-3	-16%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 16-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
富山県	780	70	47	764	72	45	-16	-2%
新川	87	66	45	73	60	39	-14	-16%
富山	381	75	49	385	77	48	4	1%
高岡	229	69	47	221	71	45	-8	-3%
砺波	83	59	41	85	65	42	2	2%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 16-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
富山県	2,574	232	52	2,671	250	51	97	4%
新川	243	184	47	245	202	45	2	1%
富山	1,422	279	58	1,509	301	56	87	6%
高岡	632	192	48	639	205	46	7	1%
砺波	277	196	48	278	213	46	1	0%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 16-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
富山県	19,933	179	57	16,942	159	56	-2,991	-15%
新川	2,434	185	58	2,180	179	59	-254	-10%
富山	9,797	192	59	8,270	165	57	-1,527	-16%
高岡	5,071	154	52	4,116	132	50	-955	-19%
砺波	2,631	186	58	2,376	182	60	-255	-10%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 16-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
富山県	10,551	95	54	8,853	83	52	-1,698	-16%
新川	1,228	93	53	1,084	89	55	-144	-12%
富山	4,921	97	55	4,339	86	54	-582	-12%
高岡	3,152	96	54	2,378	76	50	-774	-25%
砺波	1,250	89	52	1,052	80	51	-198	-16%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 16-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

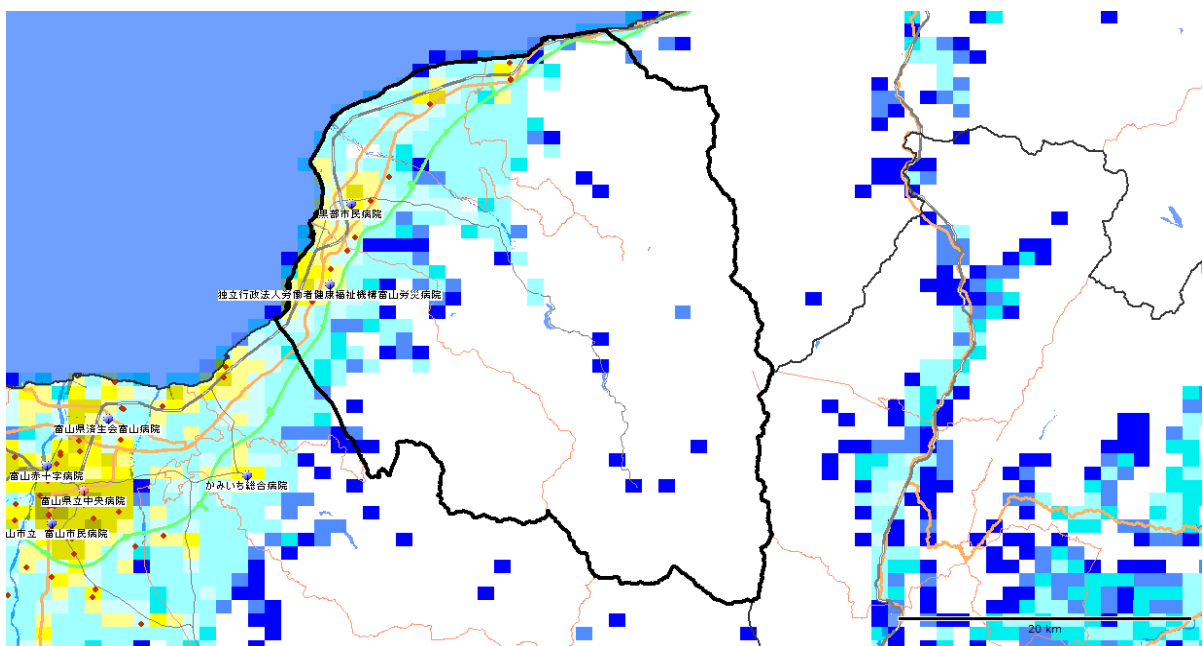
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
富山県	5,655	45	57	4,791	30	59	-864	-15%
新川	897	54	62	792	39	67	-105	-12%
富山	2,888	55	63	2,355	34	62	-533	-18%
高岡	1,034	27	47	849	18	48	-185	-18%
砺波	836	43	56	795	35	64	-41	-5%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

16-1. にかわ 新川医療圏

構成市区町村 [魚津市](#) [黒部市](#) [入善町](#) [朝日町](#)

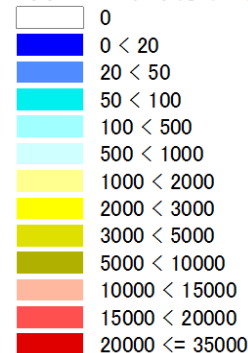
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院



(新川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 新川(魚津市)は、総人口約122千人(2015年)、面積924km²、人口密度は131人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 新川の総人口は2025年に108千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に87千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には22千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 新川の一人当たり医療費(国保)は394千円(偏差値59)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 新川の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は2.03で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数39)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。新川には、年間全身麻酔件数が1000例以上の黒部市民病院(Ⅲ群)、500例以上の富山労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 新川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,131人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,744床(偏差値70)、高齢者住宅等が387床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,485人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設80、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、188人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(新川医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

新川医療圏の総人口は、2005年131,730人が、2015年に121,507人と8%減少し、2025年の人口が108,410人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

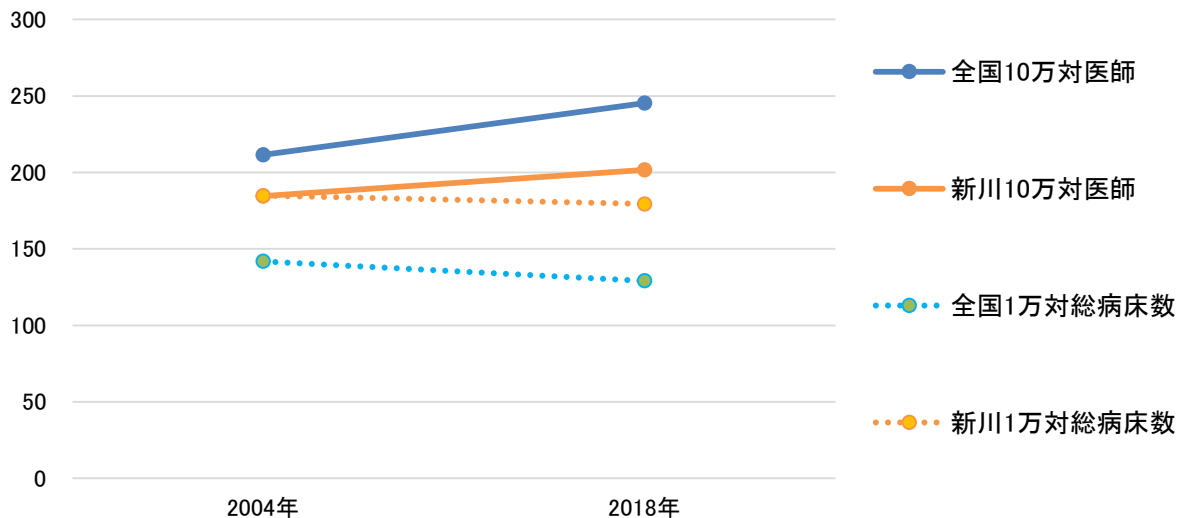
2004年の病院数が15(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に14(人口10万人当たり11.5病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が87(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に73(人口10万人当たり60診療所(全国平均80)偏差値39)と、14診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,434床(人口1万人当たり185(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に2,180床(人口1万人当たり179(全国平均129)偏差値59)と、254床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

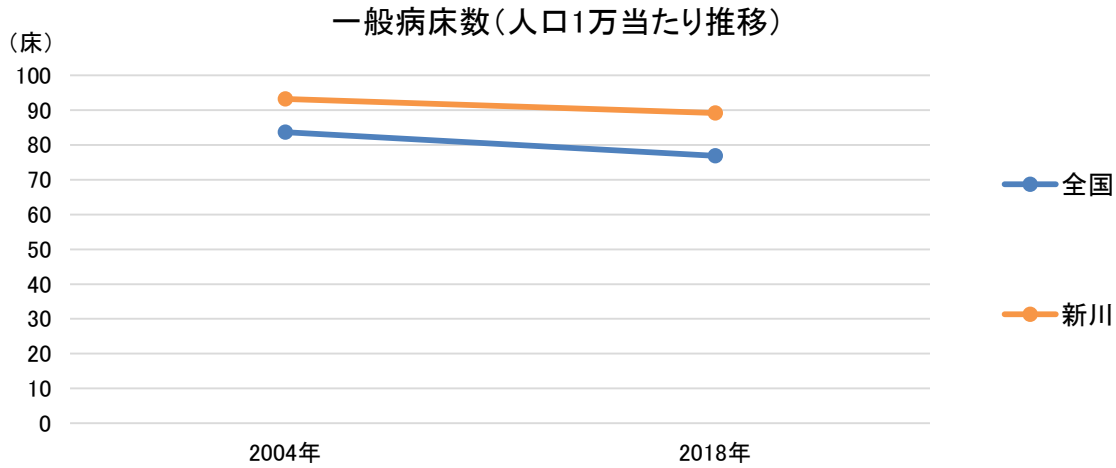
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が243人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に245人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



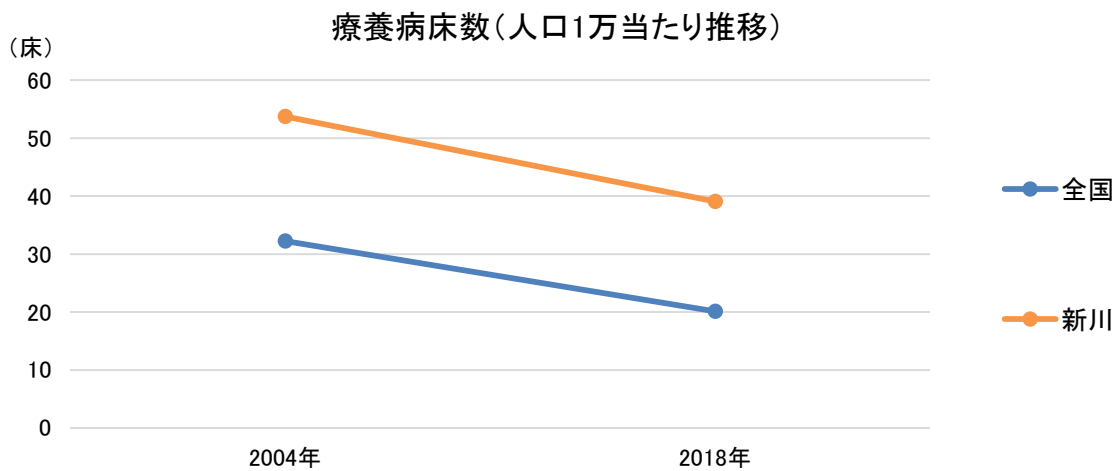
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,228床(人口1万人当たり93(全国平均84)偏差値53)であったが、2018年に1,084床(人口1万人当たり89(全国平均77)偏差値55)と、144床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



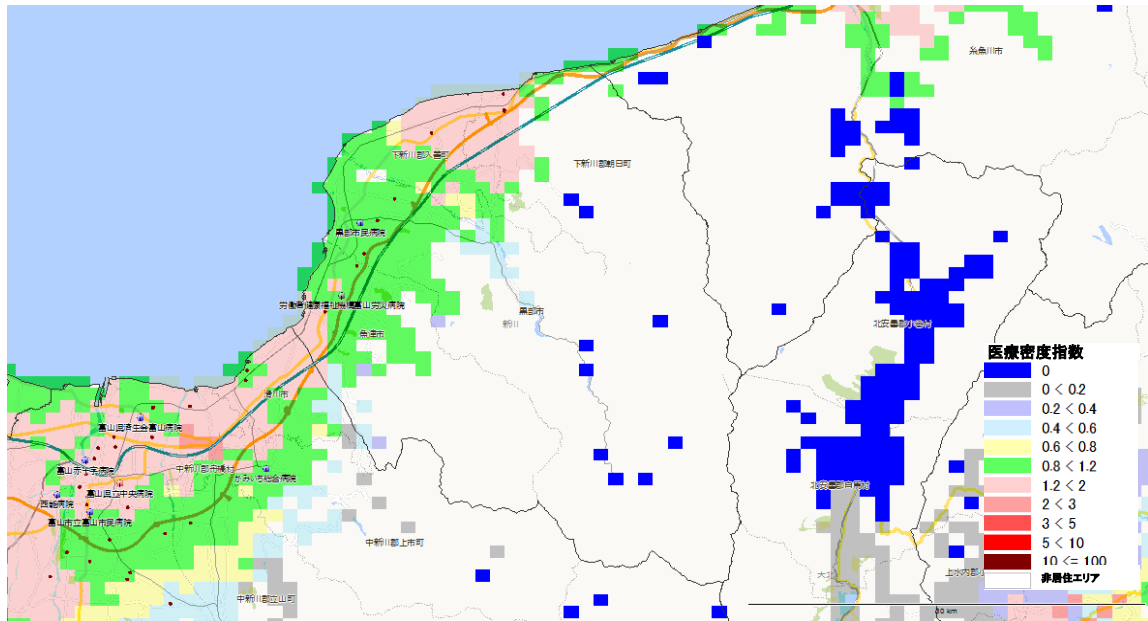
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が897床(75歳以上1,000人当たり54(全国平均32)偏差値62)であったが、2018年に792床(75歳以上1,000人当たり39(全国平均20)偏差値67)と、105床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



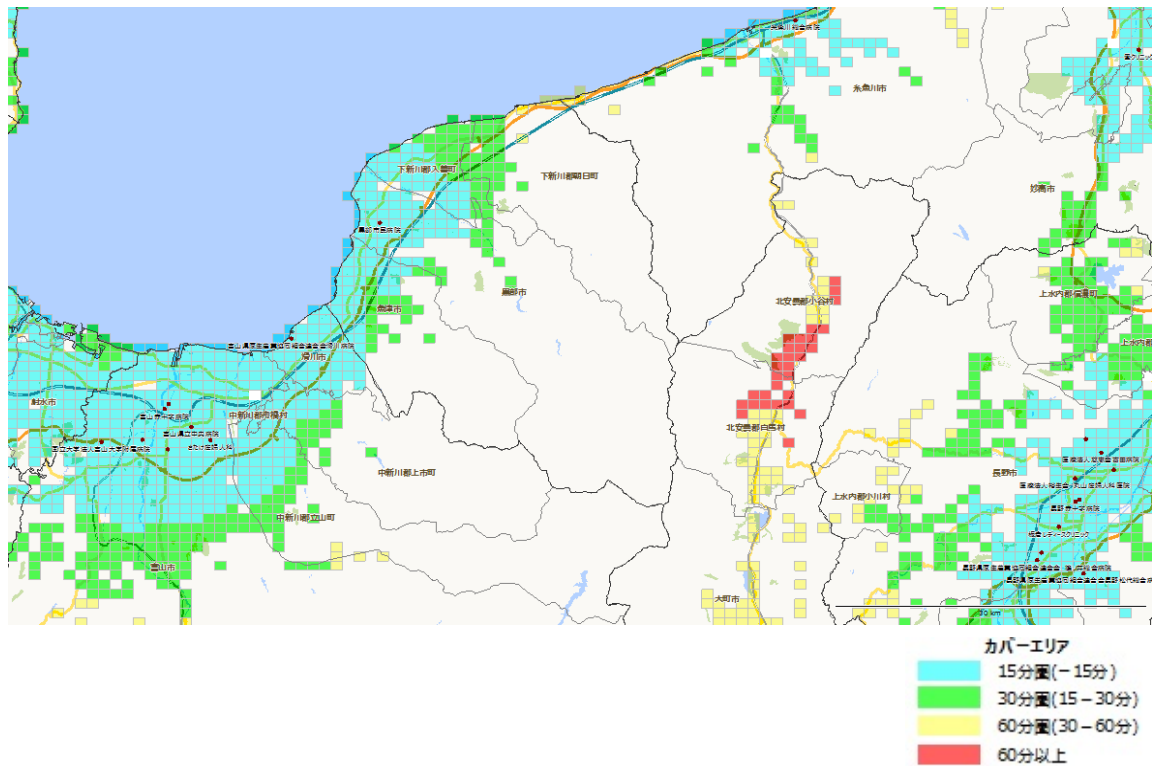
(新川医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表16-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

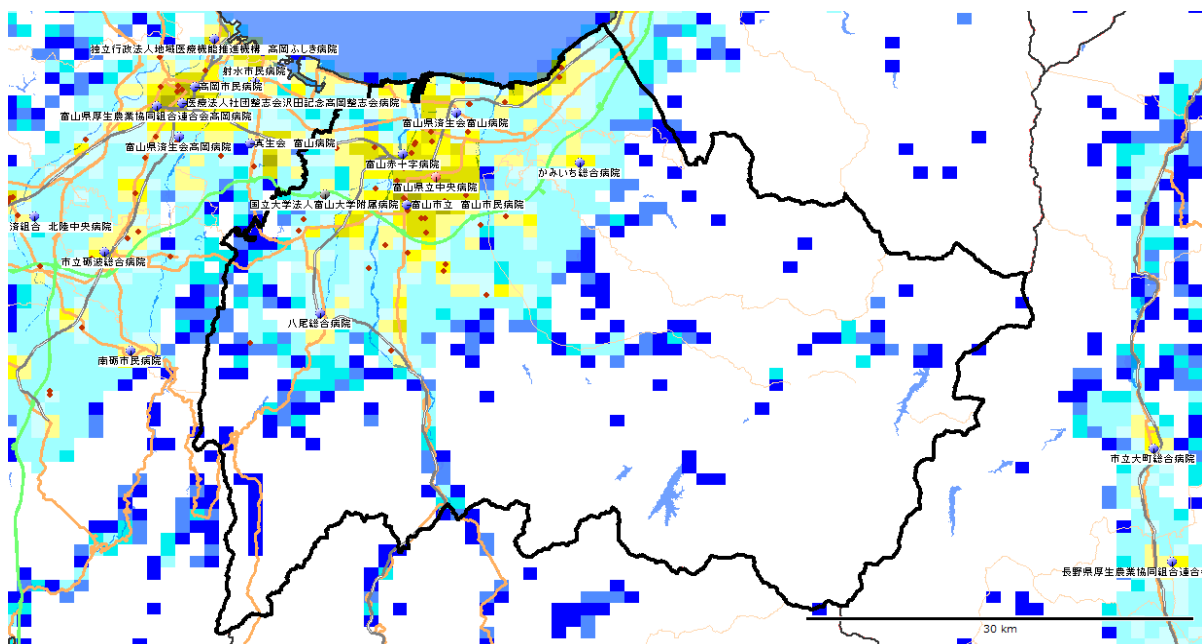


とやま 16-2. 富山医療圏

構成市区町村 [富山市](#) [滑川市](#) [舟橋村](#) [上市町](#)
[立山町](#)

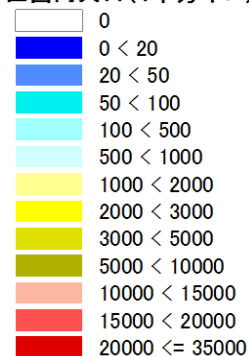
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(富山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富山(富山市)は、総人口約502千人(2015年)、面積1,844km²、人口密度は272人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富山の総人口は2025年に480千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に432千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の70千人が、2025年にかけて92千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には89千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富山の一人当たり医療費(国保)は381千円(偏差値56)、介護給付費は286千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富山の一人当たり急性期医療密度指数は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数は1.48で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数58、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。富山には、年間全身麻酔件数が2000例以上の富山県立中央病院(Ⅱ群・救命)、富山大学附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の富山赤十字病院(Ⅲ群)、富山市立富山市民病院(Ⅲ群)、500例以上の富山県済生会富山病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,804人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,531床(偏差値64)、高齢者住宅等が2,273床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,414人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設83、有料老人ホーム37、軽費ホーム49、グループホーム47、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、921人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-15%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(富山医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

富山医療圏の総人口は、2005年508,964人が、2015年に501,670人と1%減少し、2025年の人口が479,940人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

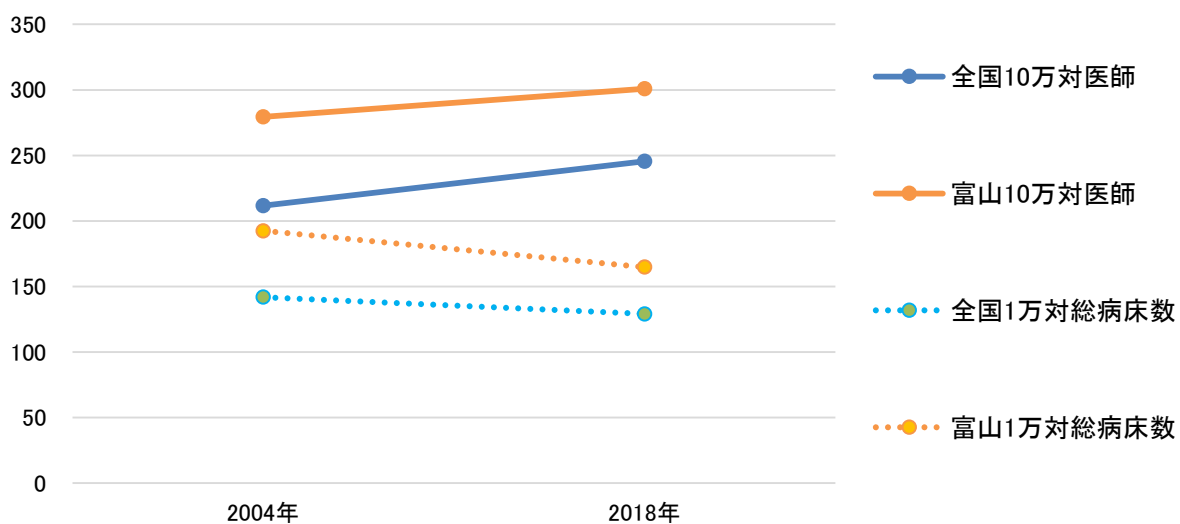
2004年の病院数が52(人口10万人当たり10.2病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2018年に51(人口10万人当たり10.2病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が381(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2018年に385(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が9,797床(人口1万人当たり192(全国平均142)偏差値59)であったが、2018年に8,270床(人口1万人当たり165(全国平均129)偏差値57)と、1,527床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

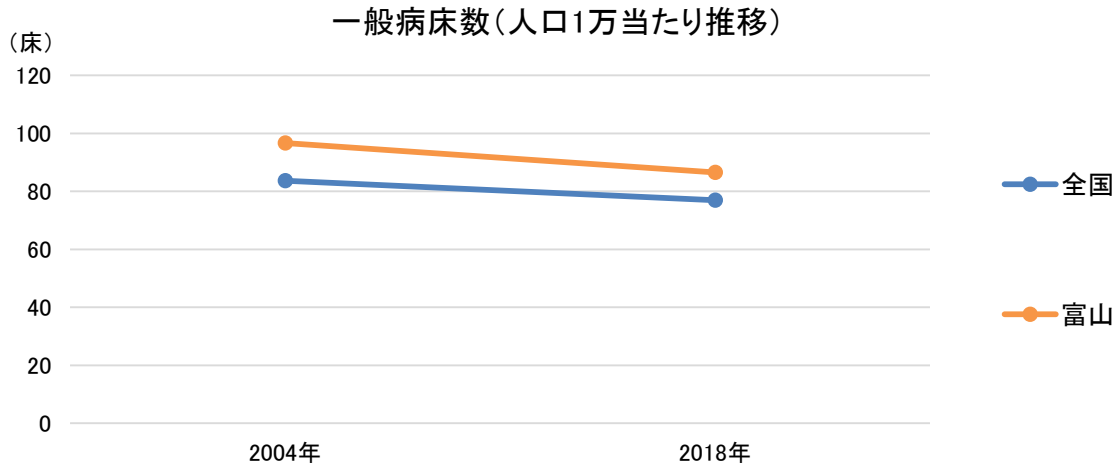
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,422人(人口10万人当たり279人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2018年に1,509人(人口10万人当たり301人(全国平均245人)偏差値56)と、87人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



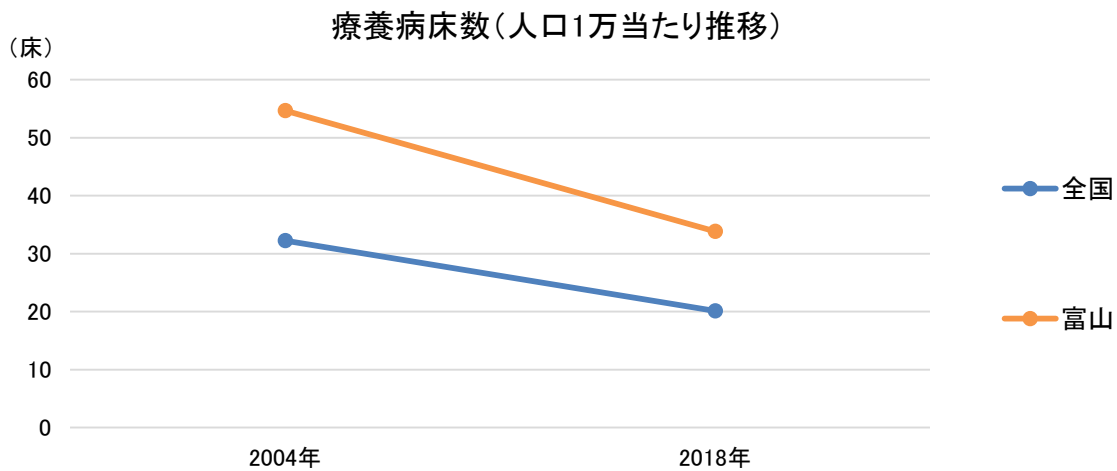
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,921床(人口1万人当たり97(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に4,339床(人口1万人当たり86(全国平均77)偏差値54)と、582床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



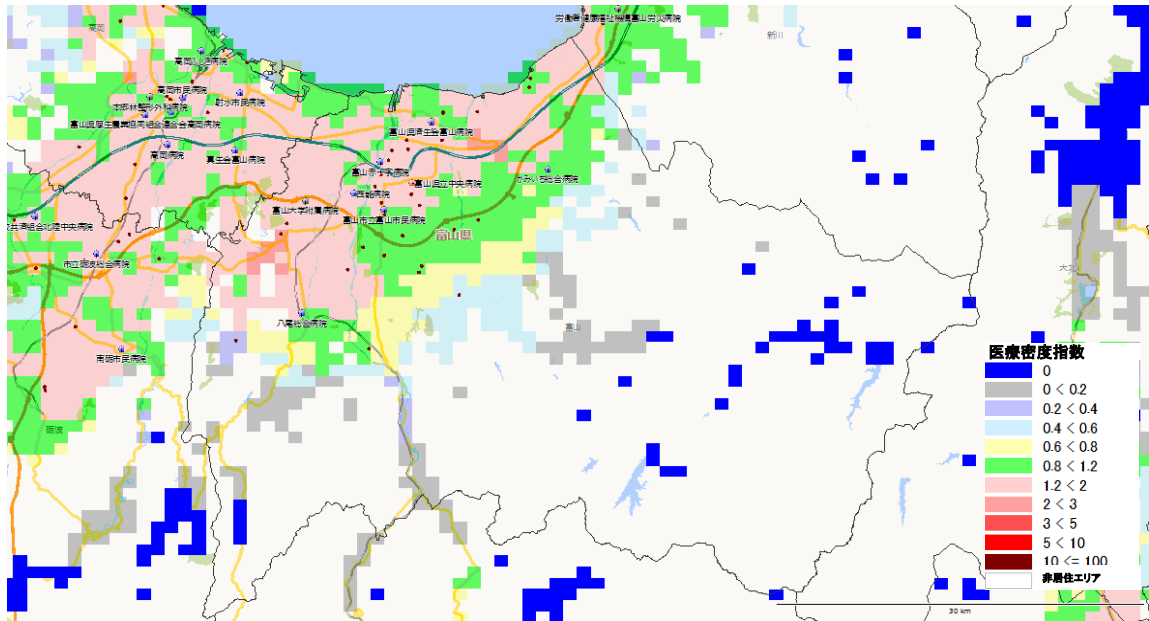
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,888床(75歳以上1,000人当たり55(全国平均32)偏差値63)であったが、2018年に2,355床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均20)偏差値62)と、533床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



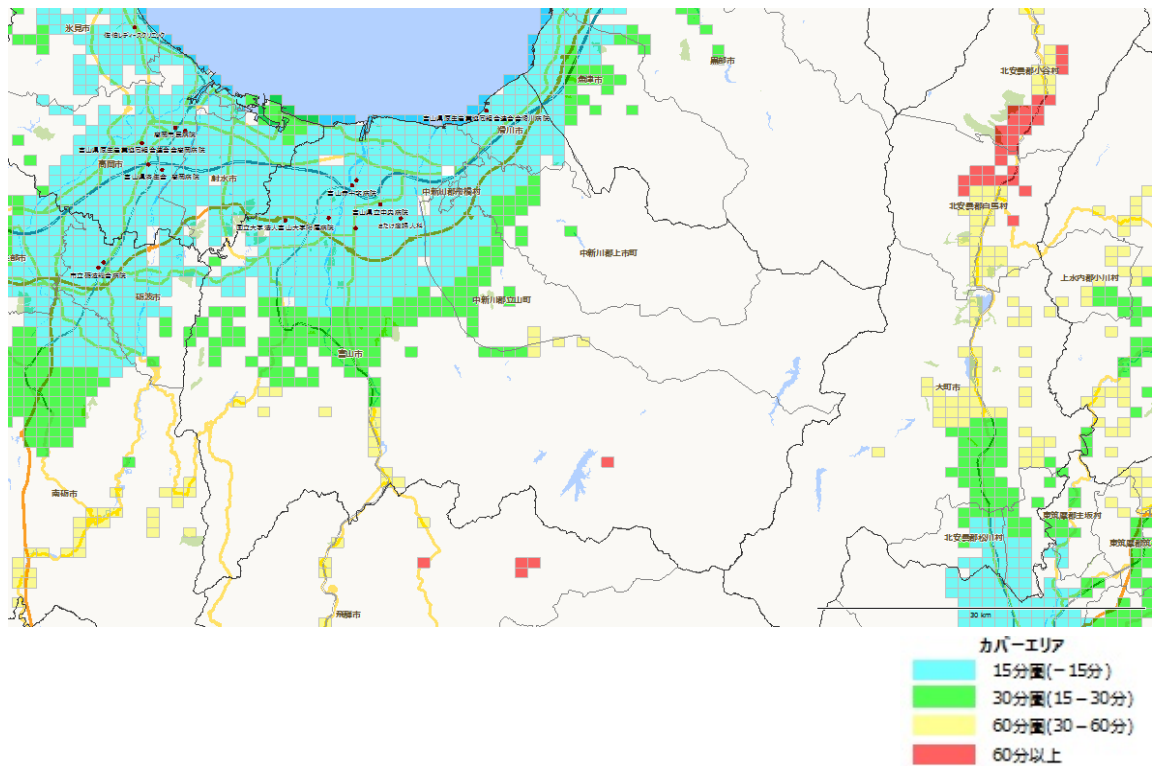
(富山医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表16-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

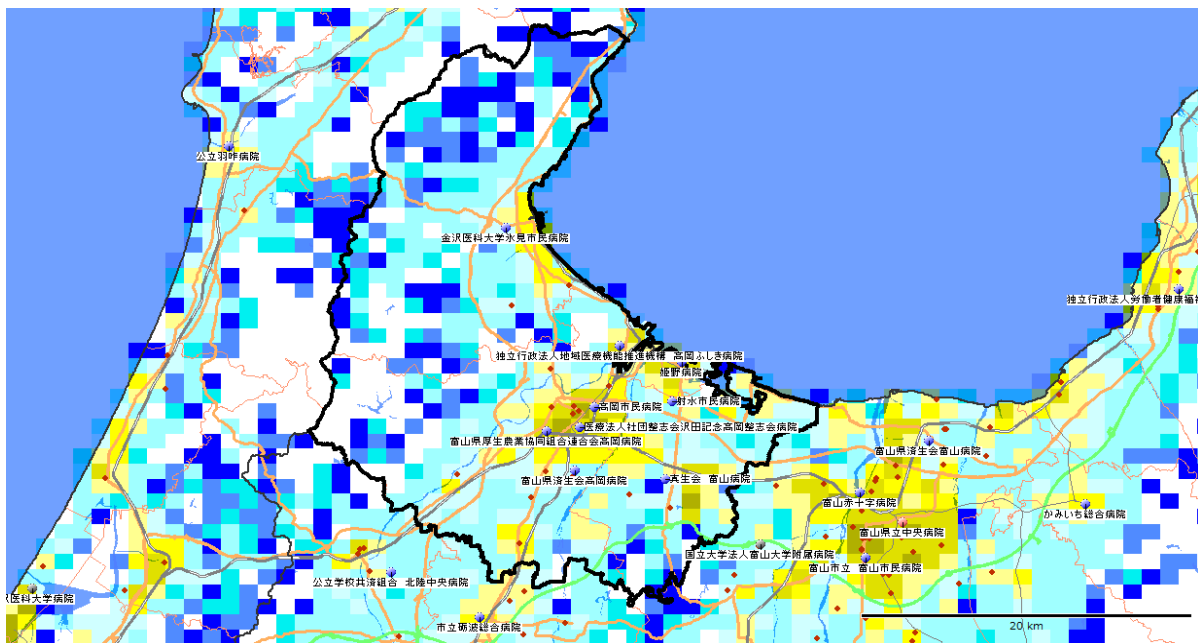


16-3. たかおか 高岡医療圏

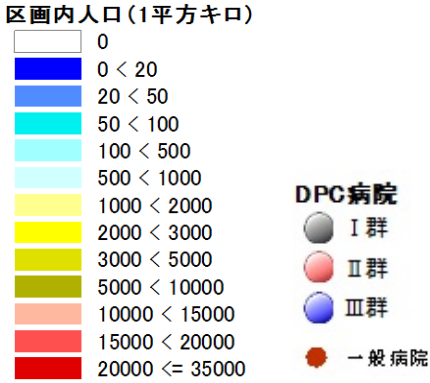
構成市区町村 [高岡市](#) [氷見市](#) [射水市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(高岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高岡(高岡市)は、総人口約312千人(2015年)、面積550km²、人口密度は569人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高岡の総人口は2025年に289千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に245千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には58千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高岡の一人当たり医療費(国保)は371千円(偏差値53)、介護給付費は277千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高岡の一人当たり急性期医療密度指数は1.42、一人当たり慢性期医療密度指数は1.87で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。高岡には、年間全身麻酔件数が2000例以上の厚生連高岡病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の沢田記念高岡整志会病院(Ⅲ群)、高岡市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,765人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,271床(偏差値56)、高齢者住宅等が1,494床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,092人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム37、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、376人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(高岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

高岡医療圏の総人口は、2005年329,933人が、2015年に312,425人と5%減少し、2025年の人口が289,030人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

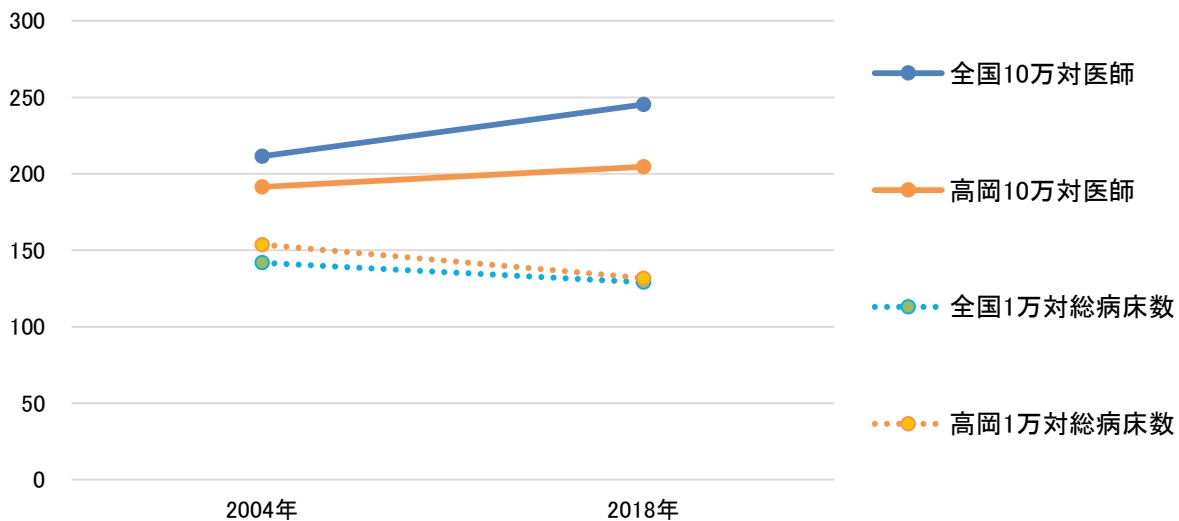
2004年の病院数が29(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に26(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が229(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に221(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,071床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に4,116床(人口1万人当たり132(全国平均129)偏差値50)と、955床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

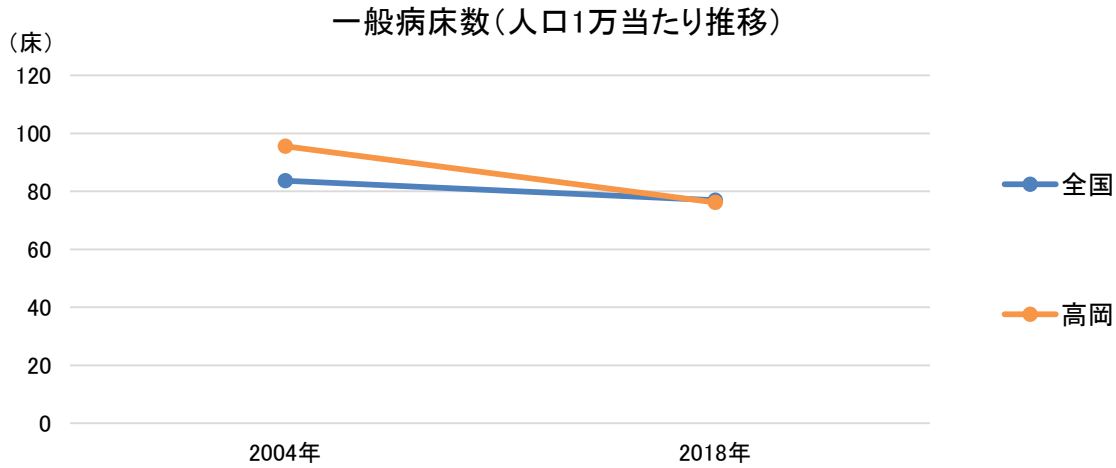
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が632人(人口10万人当たり192人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2018年に639人(人口10万人当たり205人(全国平均245人)偏差値46)と、7人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



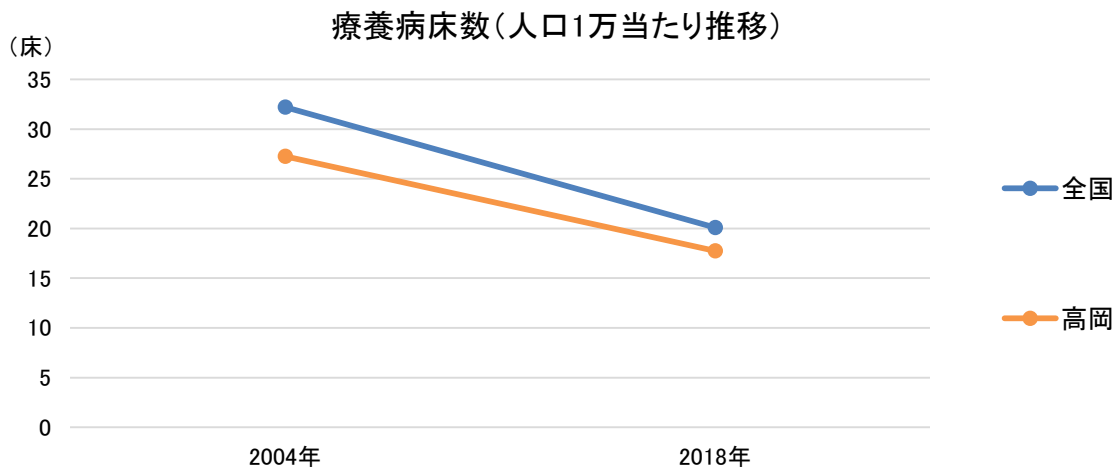
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,152床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に2,378床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値50)と、774床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



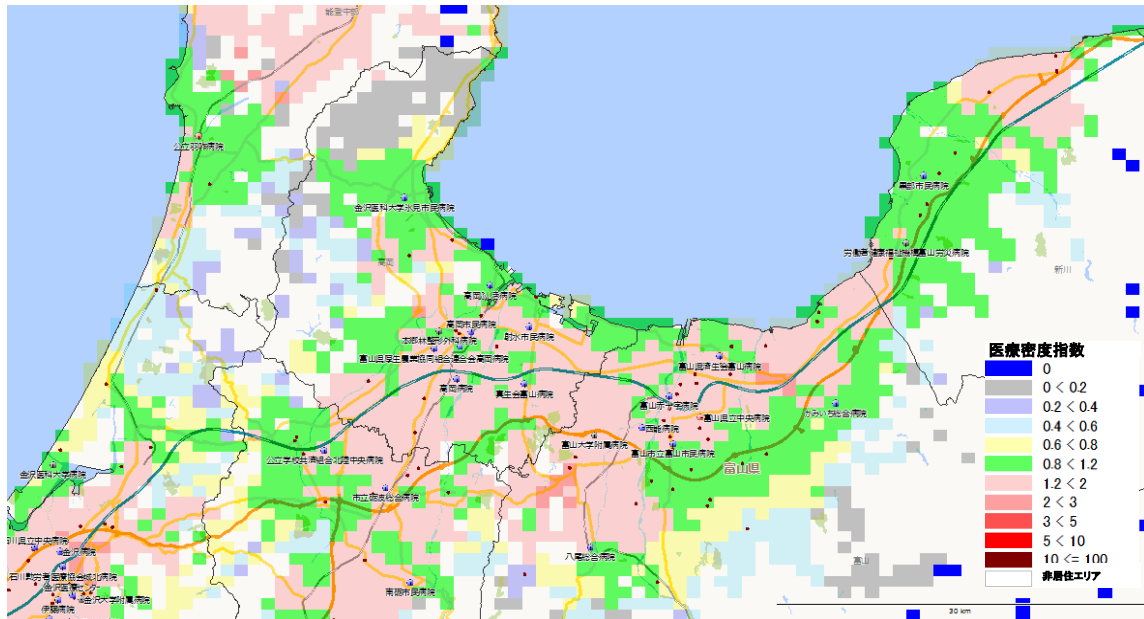
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,034床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に849床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、185床の減少、率にして18%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



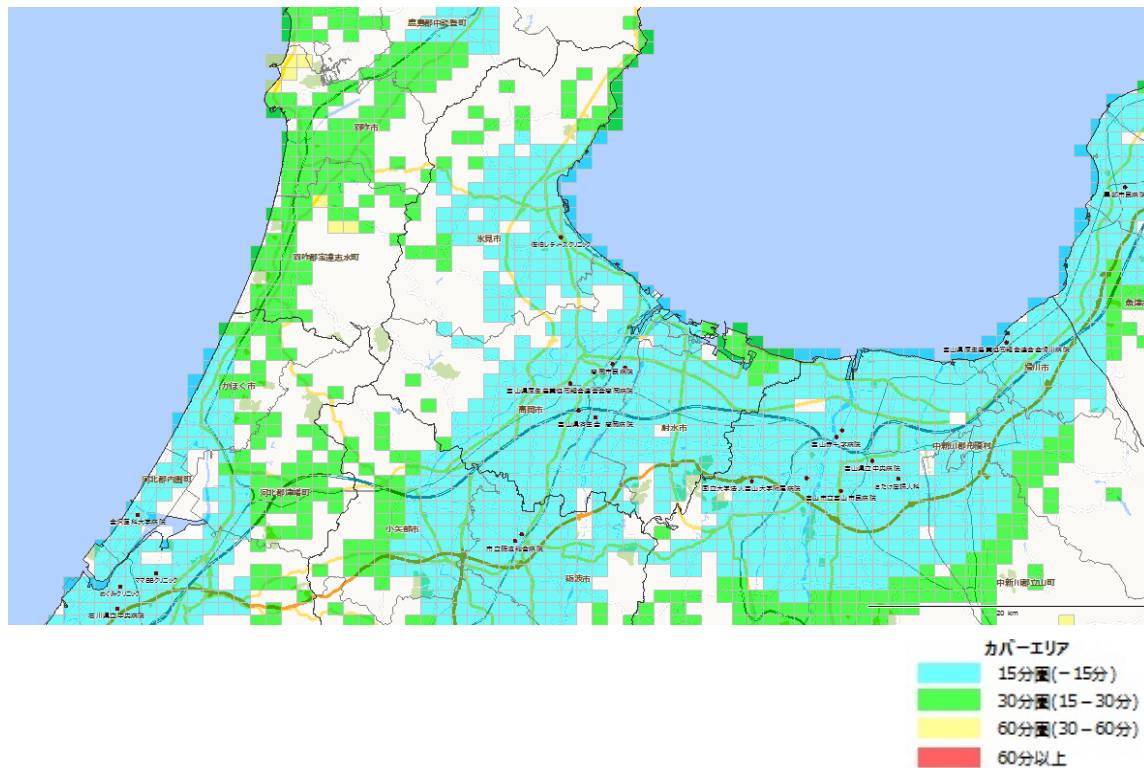
(高岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表16-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

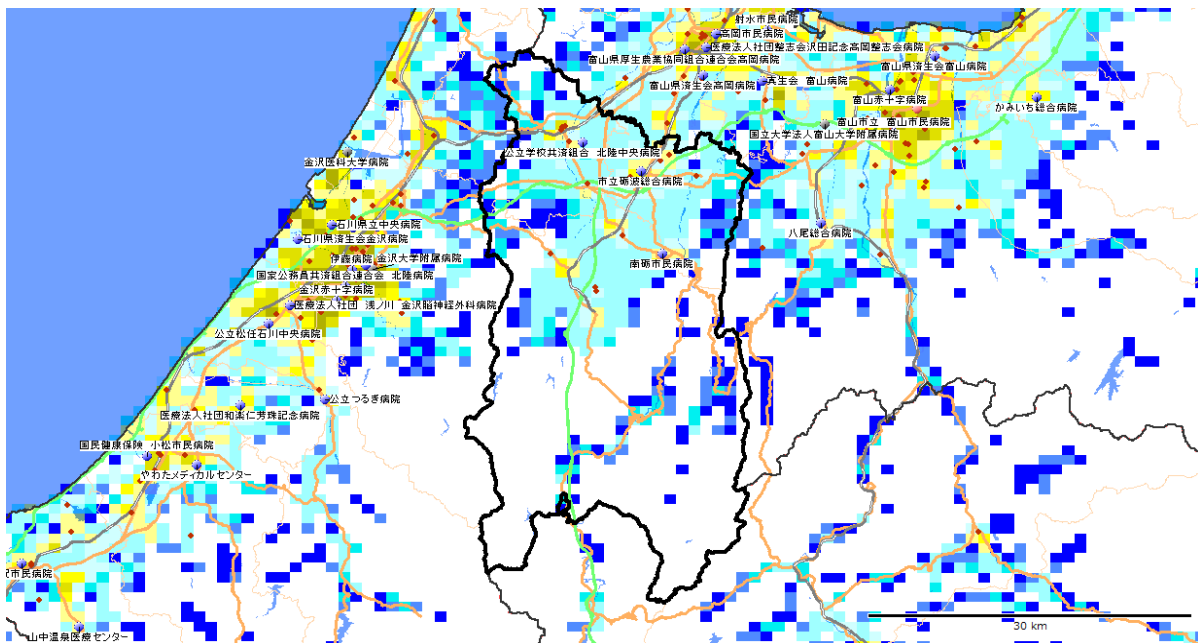


16-4. となみ 砺波医療圏

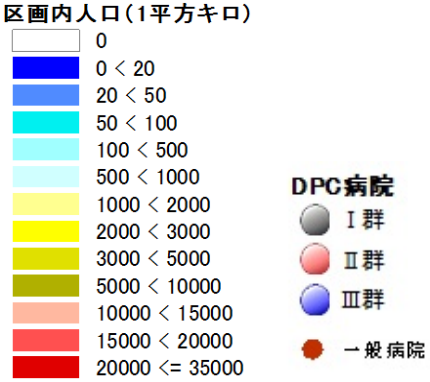
構成市区町村 [砺波市](#) [小矢部市](#) [南砺市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(砺波医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 砺波(砺波市)は、総人口約131千人(2015年)、面積930km²、人口密度は141人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 砺波の総人口は2025年に119千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に99千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 砺波の一人当たり医療費(国保)は371千円(偏差値54)、介護給付費は291千円(偏差値61)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 砺波の一人当たり急性期医療密度指数は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は1.06で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数48、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。砺波には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立砺波総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値42と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 砺波の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,395人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,693床(偏差値61)、高齢者住宅等が702床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,829人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設85、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム76、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、129人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(砺波医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

砺波医療圏の総人口は、2005年141,102人が、2015年に130,726人と7%減少し、2025年の人口が119,062人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

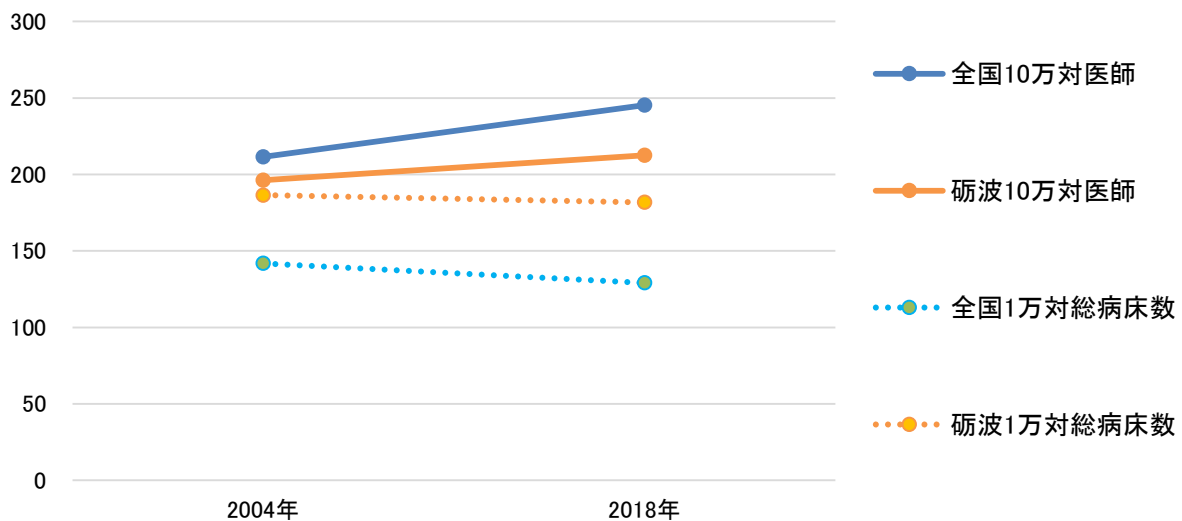
2004年の病院数が19(人口10万人当たり13.5病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2018年に16(人口10万人当たり12.2病院(全国平均6.6)偏差値64)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が83(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2018年に85(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,631床(人口1万人当たり186(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に2,376床(人口1万人当たり182(全国平均129)偏差値60)と、255床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

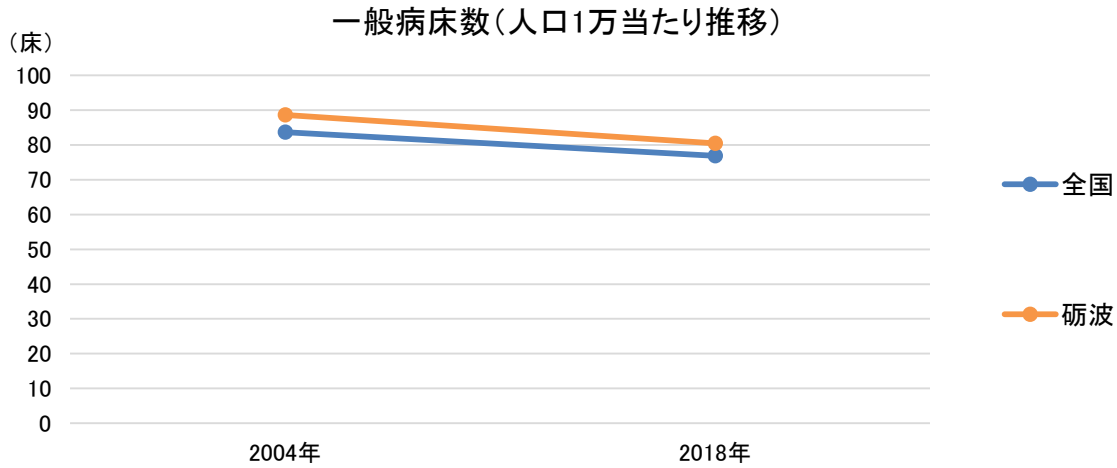
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が277人(人口10万人当たり196人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2018年に278人(人口10万人当たり213人(全国平均245人)偏差値46)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



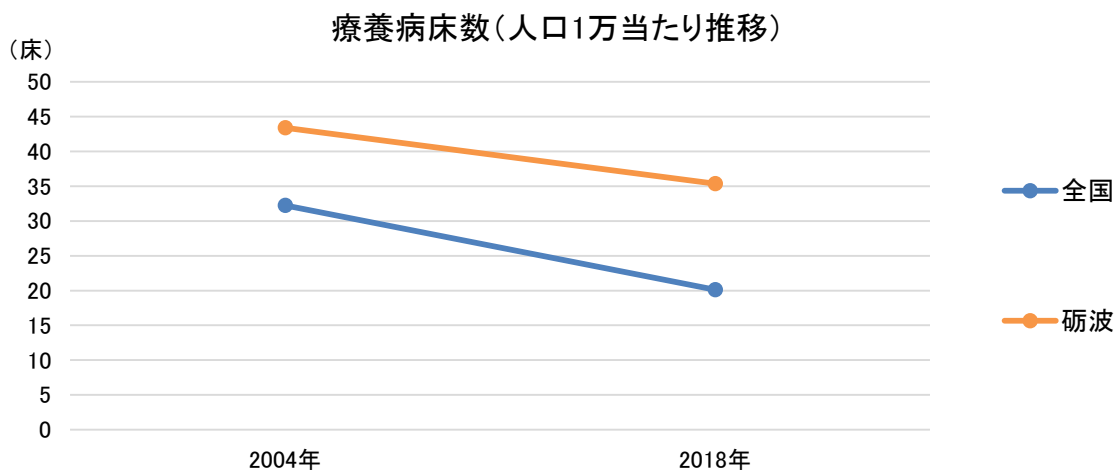
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,250床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2018年に1,052床(人口1万人当たり80(全国平均77)偏差値51)と、198床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



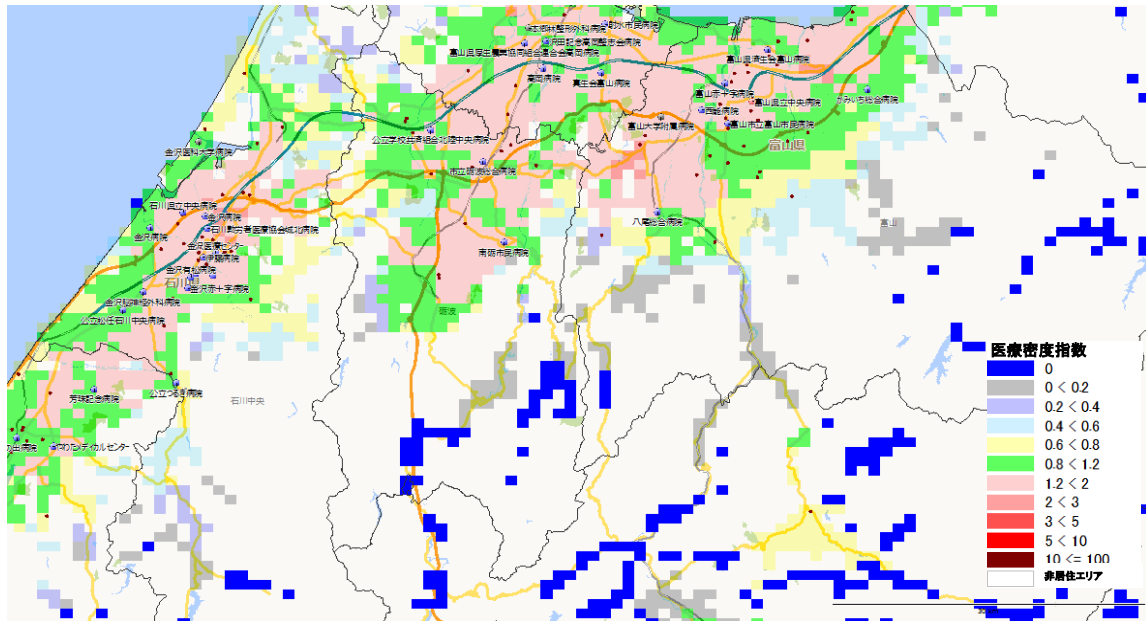
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が836床(75歳以上1,000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2018年に795床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均20)偏差値64)と、41床の減少、率にして5%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(砺波医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表16-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表16-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

